

尾瀬 至仏山 山スキー 山行記

2014年04月27日

1. 山域 尾瀬至仏山
2. 目的 雪山登山&山スキー
3. タイムテーブル

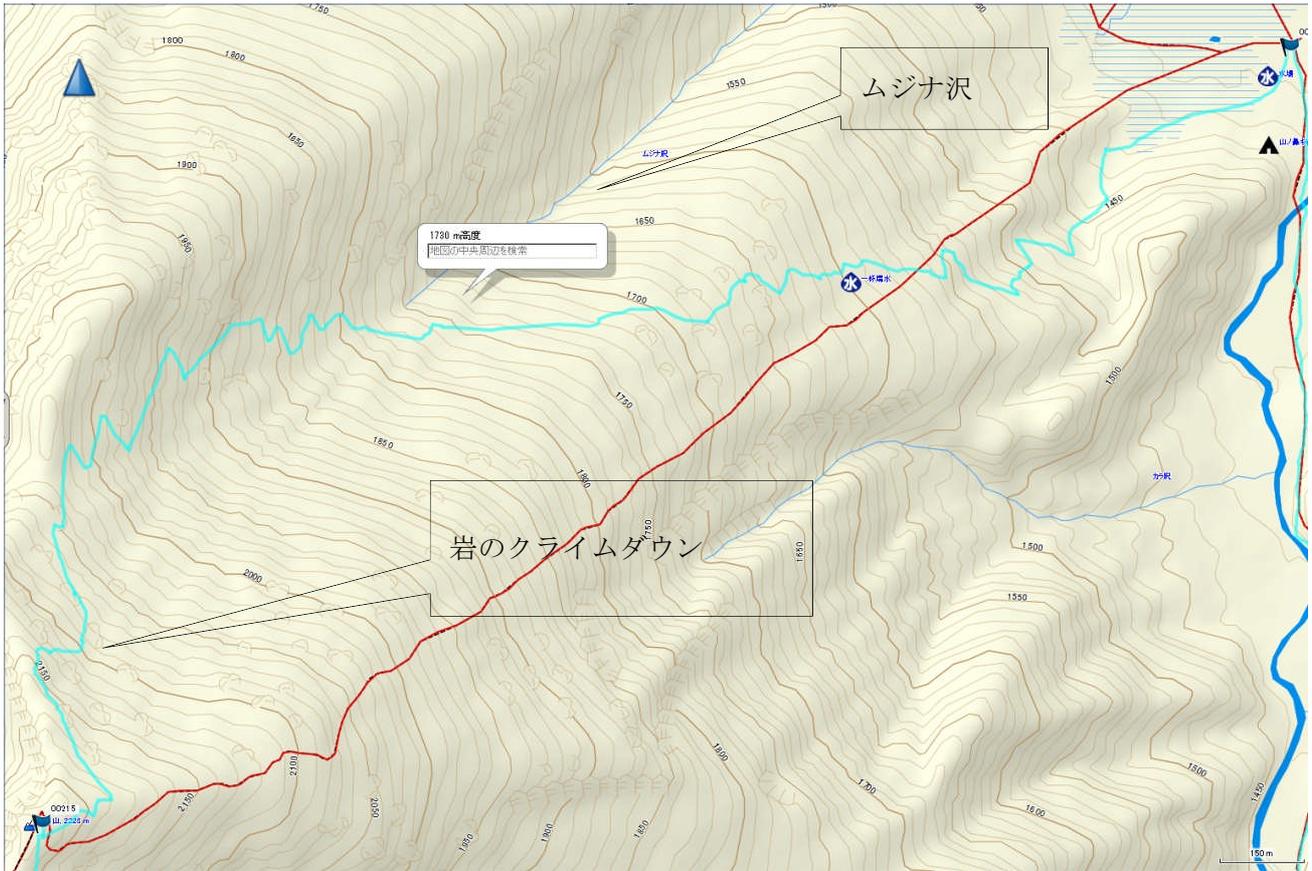
位置	出発	到着	時間	休憩
鳩待峠	7:43			
小至仏山直下	10:21	10:21	2:48	含む
至仏山		10:55	34	
	11:30			35
ムジナ沢岩場通過		11:38		
	12:17		39	
山ノ鼻		13:17	1:00	
	13:32			15
鳩待峠		15:35	2:03	含む

4. 軌跡

①全体軌跡



②下山ルート拡大



5. 写真履歴



鳩待峠出発 凄い人での数です。



登攀直後の尾根より至仏山です。



このあたりからのトラバースは踏み痕があるからよいものかなり迫力があります。



至仏山より尾瀬ヶ原と燧 春特有の湿った空気ですが・・・晴天の絶景です。
尾瀬は何回も来た。しかし、雪の尾瀬ヶ原を見たのは初めてです。



至仏山直下にて

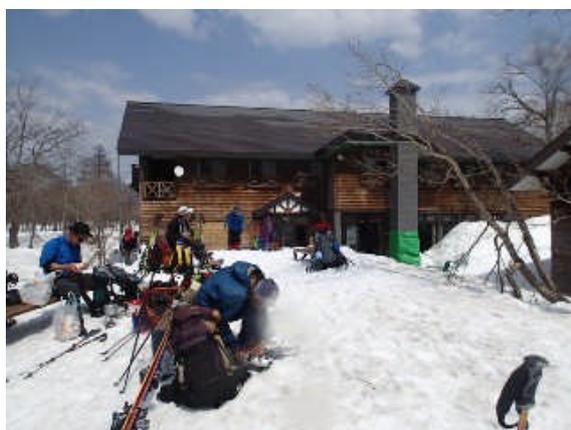


ムジナ沢の対岸に向かいますが・・・



スキーを担いでクライムダウンすることに・・・

山ノ鼻に到着です。



小屋は開いていたのでペットボトルのお茶を購入



鳩待峠到着です。山鼻より1時間の予定が2時間掛かりました。

6. 概略

- ①戸倉の鳩待峠バス連絡所駐車場で朝7時待ちあわせ。結果的に6時30分集合で出発。
- ②鳩待峠へバス（乗り合いタクシー）
- ③鳩待峠よりシール登攀
- ④至仏山よりムジナ沢上部をダウンヒル。
- ⑤ただし、ムジナ沢対岸方向をめざしたが直下で岩に阻まれスキーを担いでクライムダウンすることに。
- ⑥山ノ鼻から鳩待峠にヒルクライム。1時間の予定が2時間であった。

7. 感想と反省点

雪に覆われた尾瀬ヶ原を至仏山から眺めてみたい誘惑には勝てなかった……。悩んでみても始まらない。3時間に及ぶシール登攀。天候に恵まれ登ってみるとすばらしかった。雪山はやはりステキだ。

自分のスキーはノルディック系で且つ腕前は初級クラスなのでATに比べアドバンテージが低いことは覚悟していた。まあ、横滑りとキックターンでなんとかかなるかと思ったのだが……。雪が重くてなかなかうまくいかない。25度を超える不整地斜面に恐怖心を克服できておらず自分にはまだまだ未熟でした。山ノ鼻近くの急斜面のツリーランは最悪。あと1~2シーズンは練習と慣れが必要。

今時の登山靴は水がしみ込んでくることもない。ジルブレッタと細板スキー、軽量の登山靴の組み合わせのM講師の出で立ちは重くて自由度の少ないプラスチックブーツにカービングスキーを履く我々とはある意味ハイクアップ等では決定的なアドバンテージがあります。山に登るためのスキーをするのか・・・スキーをするために山に登るのか・・・(因みに自分は両方求める。細板革靴が最終目標)。M講師は外向外傾の逆ひねりの動作でピョンピョンとターンしながら降りて着ます。テレマークでいうとチェックホップターンです。足首が固定されていない登山靴で急斜面をダウンヒル出来るスゴ技を見せて貰いました。

8. 最近の行動食と冬山の楽しみ方紹介

サーモスとグラノーラ以外はツアーのガイドさんに教えて貰いました。いまでは雪山の定番です。



- ①自分の最近の行動食はグラノーラです。以前はペットボトルに入れていましたが今はナルゲン。水が必要ですが手袋したまま食べられるし安いし具合はいいです。
- ②いつのころからなのかノンアルコールビールの登場はグッド。春山の雪の中に埋め込んで人差し指でクルクルまわすとよく冷えます。
- ③サーモス保温袋。500ccは800cc仕様より冷め易いため保温する。
- ④山専用サーモス500 これがあるとほんとに便利。
- ⑤最近のカップ麺の進歩は凄い。エースコックの『どっさり野菜チャンポン』はエライ！
- ⑦⑧モリナ○の甘酒とおしるこのフリーズドライ。冬の山で熱々のこれを飲むと声を上げたくなるほど感動します。

フリーズドライはアマノフー○のものがありますが写真にあるものは全てマイバスケッ○で手に入ります。

おしまい